

---

---

**国際ソムリエ協会とパートナーシップを締結**  
**—フランスソムリエ協会とのパートナーシップに続き、**  
**世界の料理界で活躍するソムリエたちに日本酒の魅力を発信します—**

---

---



日本酒造組合中央会（Japan Sake and Shochu Makers Association（中央会）と、国際ソムリエ協会（Association de la Sommellerie Internationale : 以下 ASI）は、世界の主要都市における日本酒の注目度の高まりを背景に、世界のガストロノミー界を舞台に活躍するソムリエたちに、日本酒についての正しい理解や多様な活用方法に関する認知度の拡大を目指し、パートナーシップを締結しました。日本の酒類業界団体が世界 60 カ国のソムリエ協会を束ねる国際ソムリエ協会とパートナーシップを締結するのは初めてとなります。

ASI は世界のソムリエの技術向上や消費者へのワイン & スピリッツに関する啓発などを目的とし、1969 年 6 月にフランス・ランスに設立されました。現在パリに本部を置く ASI はヨーロッパ、アジア、南北アメリカ各国、日本を含む世界 60 カ国のソムリエ協会が加盟しています。ソムリエ同士の交流、テキストやセミナーなどによる教育プログラムなどの提供だけでなく、国際的なソムリエコンテストを開催するなど、各国のソムリエが学びの歩みを止めることなく、国の枠を超えて活躍するための場を提供しています。

今回のパートナーシップ締結により、ガストロノミー業界のインフルエンサーである世界市場で活躍するソムリエたちとのネットワーク構築が可能になり、日本酒の「和食」という枠を超えた各国様々な料理とのマリアージュにおける幅広さや、その背景にある日本文化、歴史、醸造技術の高さを伝える機会が増えます。

そして、今後、お互いの業界に携わるすべてのステークホルダーの知識や技術向上を目指し、その先にある世界の消費者にワインや日本酒の魅力、その多様性を知ってもらうことで、新たな美食体験を提供できることを両者ともに期待しています。

